

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	3972500361
法人名	医療法人 仁生会
事業所名	あったかホーム かも
訪問調査日	平成21年3月10日
評価確定日	平成21年5月11日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

○項目番号について

外部評価は30項目です。
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法

[取り組みの事実]
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]
 「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
 家族 = 家族に限定しています。
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利田者を含まない関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	3972500361		
法人名	医療法人 仁生会		
事業所名	あったかホーム かも		
所在地 (電話番号)	高知県高岡郡日高村九頭456(電 話)0889-24-7505		
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	平成21年3月10日	評価確定日	平成21年5月11日

【情報提供票より】(平成21年2月10日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	平成 12 年 4 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	10 人	常勤 6人, 非常勤 4人, 常勤換算 7.1 人	

(2)建物概要

建物形態	併設 (単独)	新築 (改築)
建物構造	木造 造り	
	2 階建ての	1 階 ~ 2 階部分

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	10000~15000 円	その他の経費(月額)	20,000 円	
敷 金	有(円)	(無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	200 円	昼食	400 円
	夕食	400 円	おやつ	円
	または1日当たり 円			

(4)利用者の概要(3月10日現在)

利用者人数	7 名	男性	名	女性	7 名	
要介護1	2 名	要介護2	2 名			
要介護3	1 名	要介護4	2 名			
要介護5	名	要支援2	名			
年齢	平均	88.8 歳	最低	84 歳	最高	96 歳

(5)協力医療機関

協力医療機関名	日高クリニック 細木病院 細木ユニティ病院 安光歯科医院
---------	------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

生活感、清潔感ある民家改造型のホームである。地域にとけ込み近所からも受け入れられている。居室は個性を活かした部屋作りで、違和感がなく馴染みのある生活が提供されている。利用者は機能訓練を兼ねた入浴を楽しみにしている。職員は利用者の出来ることを見つけ出来る事へのアプローチを行っている。利用者それぞれに役割があり、事業所の理念に基づいた利用者中心の介護がなされている。
--

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回課題になっていた、災害時の非常用食料等の備蓄について取り組んでいるもの十分とは言えない。また、避難訓練の実施に当たって、地域住民の参加や協力は得られていない。災害対策を充実するため、改善計画を立て取り組むことを期待したい。
①	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	ホームが良くなるための評価と捉えている。管理者が自己評価シートを記入し、職員が目を通し意見は出せるようにしている。施設長も意義やねらいを職員に伝え、評価内容も確認している。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	村の介護保険課、包括支援センターから2名、民生委員1~2名、家族会1~2名、事業所職員5名、利用者全員で構成されている。ホーム側から日々の細かい生活状況の報告後、行政側から質問等があり受け答えをしているが、家族からの意見はあまり出ないため、意見や要望がもらえるよう働きかけており、今後も継続した取り組みを期待したい。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	意見箱を置いているが意見等は出ていない。苦情があった場合は対応する仕組みはある。家族会は年1回、母体法人と合同で開催しているが、ホーム単独の家族会を3カ月毎に行うことを働きかけている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	回覧板や新聞のチラシ、ボランティアから情報を得て、地域の福祉大会、運動会、文化祭等に出向いている。牛乳パックをリサイクルに出したり、いきいき百歳体操の参加時の近所の方との交流など、地域に根ざしたホームとなっている。

2. 評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です ）

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域密着型サービスとして、独自に作り上げられた理念がある。 法人全グループホーム共通の理念があり、更にホーム独自の理念がある。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。 法人の全グループホーム共通の理念やホーム独自の理念について、朝の申し送り時などに確認し意識づけをしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面(言葉かけ、態度、記録等)において、理念が反映されている。 一人ひとりが生きがいを持って生活してもらうよう、出来ることは実施してもらい、安心安全に気をつけ優しい言葉がけで対応するなど理念を反映している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に参加している。 <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。 回覧板や新聞のチラシ、ボランティアから情報を得て、地域の行事に出向いている。牛乳パックのリサイクル活動や、いきいき百歳体操に参加し、地域住民と交流するなど地域に融け込んでいる。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。 サービスの質の向上の機会ととらえ、管理者が自己評価シートに記入し、職員が目を通し意見が出せるようにしている。施設長も意義やねらいを職員へ伝え、評価内容も確認している。 <input type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。 課題について、出来る事にはすぐに取り組んでいるが改善計画を立てて実施していない。	○	評価によって見いだされた課題については、優先順位や期間設定などの計画を立て、その過程等を確認しながら改善していくことが望まれる。また、取り組む内容等について運営推進会議などで意見をもらうなどの取り組みに期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。</p> <p>ホーム側から報告の後、包括支援センター、介護保険課から質問や注意事項があり受け答えしているが、家族からの意見はあまりない。家族から意見や要望がもらえるよう働きかけをしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。</p> <p>評価で見出された課題や助言について報告し取り組んでいる。</p>		
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。</p> <p>村の介護保険課へ必要に応じ相談している。また、村の社協の依頼を受けて地域住民を対象に「認知症」について説明したり、地域住民の相談事を包括センターへ取り次ぐこともある。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。</p> <p>法人全体の便りのほか、独自に「かも便り」を年に4回発行している。ケアプランを送付する際、暮らしぶり等の手紙を添えている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告している。</p> <p>必要に応じ、電話や来所時に必ず報告している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>金銭について用途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。</p> <p>レシートは保管し、家族の来訪時に確認のサインをもらっている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。 家族会は母体法人合同で年に1度開催しているが、家族に働きかけ3カ月に1度単独で開催する予定をしている。単独の場合、意見を出しやすい雰囲気はある。 <input checked="" type="checkbox"/> 苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。 意見箱はあるが意見や苦情はない。苦情があった場合は対応する仕組みはある。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。 法人間での職員異動はなく継続的な体制となっている。開所時からの職員が2名いる。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取り、スムーズに移行できるように配慮している。 引き継ぎの期間は10日程度を基本とし、夜勤も状況により1～2回は2人体制で対応している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="checkbox"/> 日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。 年間のホーム内研修計画があり、毎月実施している。外部研修へは身体拘束、虐待防止、リーダー研修等に参加している。常勤、パート関係なく研修へ参加できている。 <input type="checkbox"/> 全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。 外部研修受講後、参加者が持ち帰った資料を職員各自で見ている。報告会は実施していない。	○	資料回覧だけでは、参加者が研修から得た大事なエッセンスが伝わりにくいため、ホーム内研修会等で報告し、共有することが望まれる。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。 <input checked="" type="checkbox"/> 管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。 特養や村内の別法人のホームとも交流しており、今後、年に3～4回開催する予定である。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めるとともに、本人、家族等の意向も確認している。</p> <p>本人や家族の意向を確認するとともに、ケアマネの情報や退院時の要約、主治医の診断書からも把握に努めている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。</p> <p>お茶菓子で団欒したり、希望があれば食事もある。部屋に空きがあれば、家族同伴で泊まり体験もある。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者には、複数の職員が面接を行っている。</p> <p>施設長と管理者が面接に行っている。ホームでは他の職員も対応している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>日々の生活場面の中で、支援する側、される側という認識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。</p> <p>食事の支度や水分補給用の水差し、洗面台や庭の掃除、洗濯物の仕分けなど、協働して行っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>職員は利用者と共に暮らす者同士として、「哀しみ」、「不安」、「喜び」、「楽しみ」などの本人の思いを共感し、理解している。</p> <p>花見やサーカス、外出に出掛け、職員も共に楽しみになっている。利用者の寂しい思いを感じた時は寄り添いながら過ごして共感している。</p>		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。</p> <p>本人や家族から意向を聞くほか、これまでの生活歴等から把握に努めている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。</p> <p>本人の態度や表情から意向を汲み取っている。家族にも聞いている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。</p> <p>本人や家族の意見、要望を介護計画書に記載し、プランに反映させている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。</p> <p>アセスメントを実施し、それに加え「出来る事、出来ない事」を担当者が中心となって見極めている。モニタリングは毎月、カンファレンスは3カ月に1回行っている。</p>		
16	37	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。</p> <p>3ヶ月に1度見直している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>ワンパターンの期間設定ではなく、本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直し、計画内容に応じた個別の期間設定をしている。</p> <p>状況の変化や退院時、介護度の変更時など、その都度見直すとともに、食事時にむせ込みがあった場合などは随時計画に追加している。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>医療機関と連携して、医療処置を受けながら事業所で生活が継続ができるように努めている。</p> <p>協カクリニックの看護師が週3回以上訪れ、継続した生活支援をしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人、家族の状況に応じて、通院や送迎、特別な外出、外泊などの支援を行っている。</p> <p>協カクリニックへの受診は職員が送迎し、他は家族の対応をお願いしているが、行けない時は職員が対応している。実家の近くにドライブしたり、利用者の元仕事場へ行き知人に会ってくることもある。</p>		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>いままでのかかりつけ医や本人・家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。</p> <p>本人や家族の希望する医療機関で受診出来るよう配慮している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>受診結果に関する情報の共有ができています。</p> <p>家族が受診に同行する場合は書面で報告してもらい、介護記録や申し送りや連絡ノートで共有している。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	<input checked="" type="checkbox"/> 終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。 入居時に終末期に対する意見を聞いており、「重度化した場合における対応に係る指針」は作成している。 <input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期が迎えられるように取り組んでいる。 今までに事例はないが、家族の同意書等の手順を踏み、対応していく体制は出来ている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	<input checked="" type="checkbox"/> 人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉かけや対応に配慮している。 トイレ誘導は目立たないよう「手を洗いにいきましょう」といった声かけをするなど、配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関する話を話さないことを徹底している。 採用時や折々に触れて、施設長、管理者からプライバシー保護について徹底している。 <input type="checkbox"/> 全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。 個人情報の保護について日頃職員に説明しているが、個人情報保護法に関する研修等は実施していないので、法の理解までには至っていない。	○	個人情報の漏洩防止等について、個人情報保護法に関する研修を実施し、秘密保持の徹底を図ることが望まれる。
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりが「その日」にどのように過ごしたいかを把握し、それに応じて柔軟に支援している。 利用者の表情や言動、生活歴等から、庭の草引きや食事の準備、スーパーへの買い物、掃除など本人の意思に沿って支援している。 <input checked="" type="checkbox"/> 事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。 基本的な一日の流れはあるが、個人のペースを尊重して支援している。部屋で食事を摂る方もいる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。 冷蔵庫の食材を見て前日に献立を作り、利用者の希望も考慮している。買い物が必要なときは職員と利用者1名で行き、また、調理の下ごしらえや片付けなど一緒に行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員は食事の介助にとどまらず、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。 午後の時間帯に、利用者の希望に沿って入浴を支援している。 <input checked="" type="checkbox"/> 入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせた入浴支援を行っている。 行事以外は毎日入れるようにしているので、ほぼ全員が拒むことなく入浴している。少し抵抗がある場合でも、声かけなどを工夫している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握し、食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。 生活歴や表情、行動から把握し、日常的には掃除、お米とぎ、野菜の選別、皮剥等を支援している。また、饅頭作り、干し大根、干し柿作りなど、利用者が楽しく、和やかに取り組める場面づくりに配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため働きかけを行っている。 掃除、洗濯、調理、草取り、新聞取りなど生活の中で一緒に行いながら、役割や楽しみに繋げている。洗濯物がきちんとたためない場合も役割として行ってもらい、後でそっと直すなど支援をしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25	61	事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。 量販店や花屋、家の近く等へ出掛けている。家に帰りたい利用者には家族の方と相談して家へ行くこともある。 <input checked="" type="checkbox"/> 歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的に行っている。 日向ぼっこや近所の公民館で行っている百歳体操に積極的に出掛けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。 暖かい日には毎日外へ出かけている。買い物は交互に声を掛けて1名同伴している。月に1度はバスでレクリエーションに行っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	<input type="checkbox"/> 居室や日中玄関に鍵をかけていない。 家族の希望により午睡時間や夜間は居室の入り口に鍵をかけ、居室の窓は10cm以上開かないよう留めをしている利用者が1名いる。身体拘束に関する説明書と同意書はある。デイルームや他の2階の窓も非常口以外は開かないようになっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。 <input checked="" type="checkbox"/> 近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。 隣近所との関係が良く、見守りにも協力的である。	○	窓の施錠等は、必要な場合もあるが、「安全確保」という名目のもと、閉じ込める状態が常態化していないか振り返る必要がある。事業所側のみの検討ではなく、運営推進会議で知恵や意見を求め、より良い方向を見出し、その人らしい生活支援をしていくことが望まれる。
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<input type="checkbox"/> 事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的に実施している。 年に2回防火訓練を実施しているが、地域住民の参加はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。 避難路は確保している。消火器等の点検は6ヶ月に一度実施している。また、非常用として水は2リットル容器6本と魚や貝の缶詰10個を準備するなど改善が図られているが、3日分を目安に備蓄することを期待したい。	○	防火訓練のみでなく地震等も想定した訓練が必要で、地域住民の参加、協力体制を築くことが望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。</p> <p>1日1300～1600キロカロリーの摂取を目安としており、糖尿病の方は1300キロカロリー位にしている。水分は平均で1300～1500cc位摂取できている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。</p> <p>肉や魚など、利用者の好みの食材に配慮し、調理の工夫をしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。</p> <p>母体法人の栄養士に、年に1度、1週間分の献立をチェックしてもらっている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。</p> <p>ソファやテーブルが使いやすく配置され、週刊誌なども直ぐ手に取れる所に置くなど、共用空間づくりに配慮している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気を壊していない。</p> <p>飾り付けは優しく、家庭的な雰囲気となっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。</p> <p>桜の装飾や季節の花などが活けられ、カレンダーや時計も違和感なく配置されている。</p>		
30	83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>使い慣れた馴染みの物を傍に置くなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫している。</p> <p>利用者の使用していた洋服ダンスや位牌のある部屋もあり、それぞれ個性的で落ち着ける部屋づくりに配慮をしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組んでいる。</p> <p>さりげなく写真を飾るなど工夫をしている。</p>		